

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



シニア・トラベラーズ

「Facebook」で、オーストラリアに住んでいる叔父が投稿した国内を旅している写真を見ました。ニューサウスウェールズ州にある歴史のある「トライアル・ベイ刑務所」の檻の中に楽しそうに入っている叔父の写真が私の一番のお気に入りです。66歳の叔父はパートナーと一緒に数カ月間あちこち旅をしていて、これからも大冒険がまだまだ続くそうです。

今回は彼らのようなシニア・トラベラーズのことを紹介します。どうぞ、楽しんで読んで下さいね。



▲「トライアル・ベイ刑務所」で写真を撮る叔父

Grey Nomads (グレイ・ノマド)

歳(とし)を取ってから長旅をするシニアのことを「Grey Nomads」と呼びます。直訳すると「灰色の遊牧民」ですが、実際は白髪(grey hair)の放浪者(Nomads)になります。

「Grey Nomads」はキャンピングカーやトレーラーハウスを購入し、長年住んでいた家を出たり、売ったりして、アクティブに旅をします。オーストラリアの「Grey Nomads」の数はどんどん増え、現時点で数万人いると言われています。

旅の期間は数カ月間の人もいれば、健康とお金がある限り続けるつもりの人たちもいます。自由でシンプルなライフスタイルを楽しみながら、オーストラリア中を見て回り、いろいろなことを体験できる「Grey Nomads」になることは多くのオーストラリア人の夢なのです。

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Dodgy"

読み方 「ドッジー」

意味 「怪しい、ダメ、詐欺師、危険な、油断のならない など」

「Dodgy (ドッジー)」はオーストラリアやニュージーランドなどのイギリス英語圏の人がいろいろなシーンで使っているスラングです。「Dodge (ドッジ: 避ける、ごまかす)」という単語が基になっています。他にも体の調子が悪いときや信用できない「物・事・人」、リスクを伴うことなどにも使えるとても便利なスラングです。単純に「Dodgy = ダメ」で覚えましょう。

働くGrey Nomads

オーストラリアでも日本と同じように働くシニアが増えてきています。その理由は、お金や健康のため、単に退屈だったりなどさまざまです。

「Grey Nomads」になった人の多くは、各地にあるファーム(農場)で働いています。これまで続けていた旅を休んで農村地域に一時滞在することで、新しい友達を作ったり、旅を続けるためのお金を貯めたりすることができるなど、働くことは「Grey Nomads」にとって、色んなメリットがあるのです。

オーストラリアでは野菜や果物を収穫する人材が不足しているので、ファームで働いてくれる「Grey Nomads」は、とてもありがたいと多くの農家の人は思っています。中には毎年、同じファームで働く人もいます。彼らは経験を活かして、一緒のファームで働く若者のバックパッカーに指導をすることもあるそうです。

オーストラリアのように日本にもたくさんの素晴らしい観光スポットがありますよね。歴史的な神社やお寺、すてきな桜や紅葉が見られる場所、温泉などいろいろとあり、日本で行く「Grey Nomads」の生活もすぐ楽しそうです。できれば私も歳(とし)を取った後は、オーストラリアと日本の両方で「Grey Nomads」の生活してみたいと思います。皆さんもぜひ、シニアになって長旅をしてみませんか。